



第3回 全国少年少女 チャレンジ創造コンテスト 全国大会

平成24年11月17日(土)
東京工業大学屋内運動場(目黒区大岡山2丁目12-1)

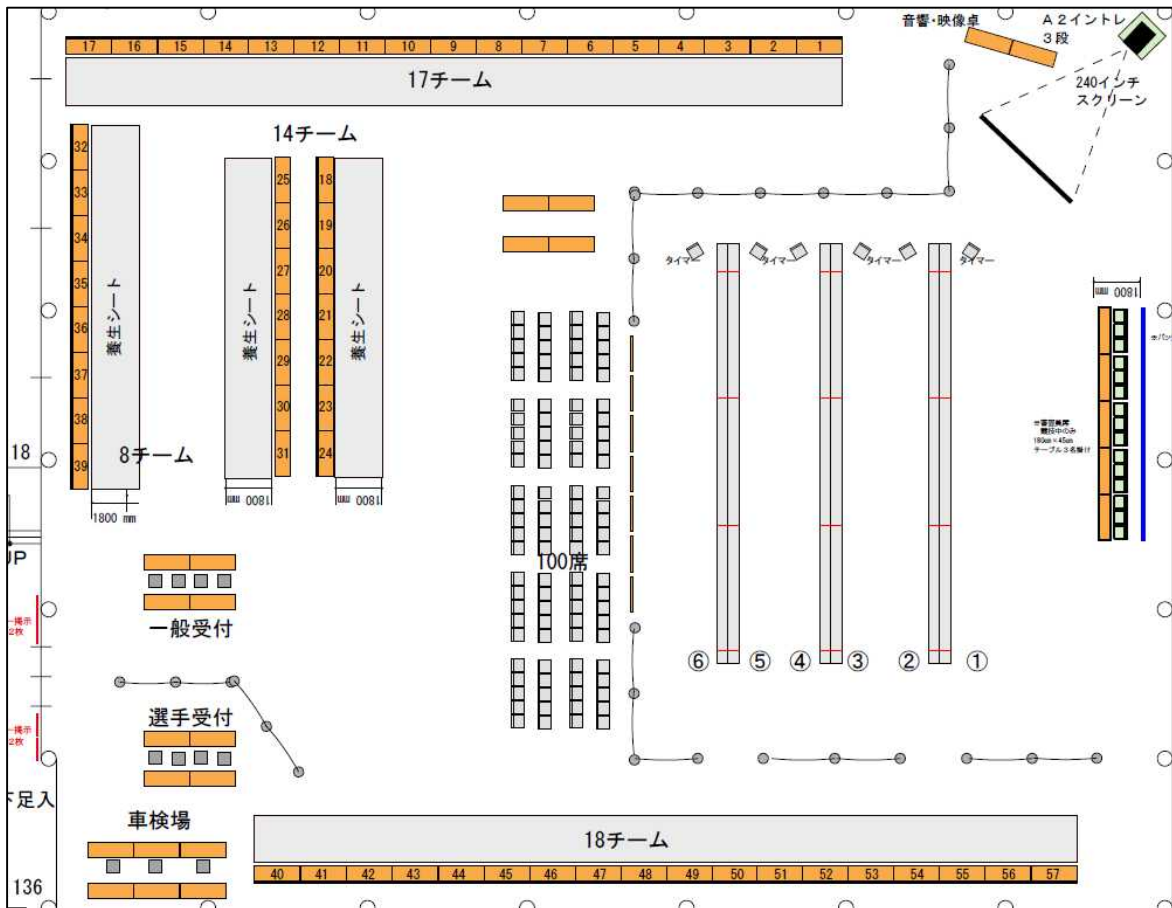
主催 公益社団法人発明協会

後援:文部科学省、経済産業省、特許庁、東京工業大学、日本弁理士会、NHK、読売新聞社
協賛:全国連合小学校長会、全日本中学校長会

1. 大会スケジュール

- 10:15 【入場行進】
- 10:30 【開会式】
☆主催者あいさつ 公益社団法人発明協会副会長 及川 耕造
☆選手宣誓 タンポポ(千葉県)
☆コンテスト委員紹介 ☆ルール説明 他
- 10:40 【走行競技 1回目】
・15分コース往復、チームNo.1~No.57まで6コースに分かれて順に行います。
応援するチームの走行コースについては、出走スケジュールでご確認ください。
- 11:20 【プレゼンテーション】
・1チームごと1分間で作品のプレゼンテーションを行います。
・アイデア、デザインの重要なポイントとなりますので、投票の参考にしてください。
- 12:30 【投票受付開始】 14:00まで
- 12:40頃 【お昼休み】
- 13:20 【走行競技 2回目】 1回目、2回目のうち良かった記録が審査に反映されます。
- 14:00 【アイデア・デザイン投票締切】 車検場にある投票箱へ投票用紙を投函してください。
- 14:20 【体験教室の開催】
愛知県の発明クラブ指導員の先生による体験教室を開催します。
ぜひ皆さんで参加してください。
- 16:00 【表彰式】
☆コンテスト委員会委員長あいさつ 広瀬 茂男 先生
☆贈賞、メダルの授与(順番:優秀賞・銀メダル→特別賞・金メダル→銅メダル)
☆大会講評 コンテスト委員会副委員長 鶴見 隆 先生
- 16:30 【閉会式】
☆閉会宣言 コンテスト委員会委員長 広瀬 茂男 先生
☆記念撮影

3. 会場



- (チームブース) 各チームのマシンはチームブースでご覧いただくことができます。
- (コース) 応援するチームの走行コースは出走スケジュールでご確認ください。
- (その他) 競技エリアへは立ち入りできませんのでご了承ください。
買い物は、駅前のコンビニ、スーパー等をご利用ください。

4. ルール説明

課題:「モーターとゴムで動くハイブリッドカー」

☆競技 片道 15m のコースを走行します。

① 第一ステージ (エネルギー充填)

15m を 30 秒以内に手回し発電機で走行します。

走行中にゴムエネルギーとキャパシタへの充電を行います。

(時間一杯充電した方が第二ステージ有利となります)

※走行中に壁につかえるなど停止してしまったとき、審判が「完全に」停止したと判断してから 5 秒のカウントを行います。この間に回復できない場合、そのチームは第一ステージ終了となります。

② 第二ステージ (記録)

第一ステージで蓄積したゴムエネルギーで、15m を走り時間を競います。

同時に、マシンに搭載した LED 等でパフォーマンスを行います。

※走行競技は午前・午後に関らず一回ずつ行い、良かった記録が審査会に提出されます。

☆プレゼンテーション

各チーム、与えられた1分間でマシンに対する工夫を審査員に対し紹介します。

また、走行時すべて見せられなかったパフォーマンスについても紹介を行います。

☆アイデア・デザイン投票

競技、プレゼンをご覧になって気に入った作品に投票してください。

集計結果は審査会でのアイデア・デザイン評価に加えられます。

☆特別賞ほか各賞

走行記録、アイデア・デザインの投票結果をそれぞれ50点満点で換算し、審査委員の評価を加えて賞を選考します。

特別賞(2点) 文部科学大臣賞・・・走行記録が最も良いチーム

特許庁長官賞・・・アイデア・デザインが最も良いチーム

優秀賞(7点) 優秀賞は成績上位のチームの中から選ばれます

発明協会会長賞(3点)

日本弁理士会会長賞、NHK会長賞、読売新聞社賞、JKA会長賞

WEBポイント賞

(10/15～11/12まで行った公開web投票で、最も得票が高かったチーム)

5. 出走スケジュール

No.	都道府県	チーム名	タイム①	タイム②
1	岩手	イワテガンバルゾテンサイ		
2	山形	スペース・はやぶさ		
3	山形	ファイヤードラゴン		
4	長野	アシガル		
5	愛知	源平(げんべい)		
6	愛知	チーム・Zブルー-S		

A

7	富山	まなびっこ6班		
8	石川	ハヤブサ		
9	福井	チーム和田		
10	奈良	仲良し三人組!		
11	岡山	ののちゃんAチーム		
12	徳島	北島D		

B

13	熊本	Ghost Eye(ごーすとあい)		
14	沖縄	Cチーム		
15	福島	チーム行仁(ぎょうにん)		
16	千葉	中央小チーム		
17	群馬	チームS		
18	大阪	チャレコンエジソン		

C

19	埼玉	3ファイター		
20	滋賀	チャレンジャー		
21	栃木	パソッキー		
22	島根	レッドドラゴンズ		
23	山形	カニクリームコロッケ		
24	愛媛	陶街道みかん隊		

D

25	京都	輝くイカチーム		
26	山形	3珍ブラザーズ		
27	千葉	茂原七タトリオ		
28	神奈川	ドラゴンスター		
29	新潟	MK2Ω(エムケーツーオメガ)		
30	北海道	幣舞(ぬさまい)中学校 ネイボラNo.1		

E

No.	都道府県	チーム名	タイム①	タイム②
31	愛知	busyou(ぶしょう)		
32	大分	はやぶさA		
33	福岡	マーキュリー		
34	青森	チーム黒石B		
35	山口	チーム飛龍		
36	茨城	グレートシャイニング		

F

37	静岡	フェニックス		
38	愛知	1.2 はやぶさ(ワンツーはやぶさ)		
39	愛知	岡田JAPAN		
40	大阪	3K(スリーケー)		
41	愛知	Three monkeys(スリーモンキーズ)		
42	香川	比地小チーム(ひじょうチーム)		

G

43	広島	start		
44	青森	青森エコスーパー		
45	愛知	流れ星		
46	佐賀	チーム モリ		
47	岐阜	MNT(エムエヌティー)		

H

48	宮崎	キラキラ三つ葉		
49	東京	スターソード		
50	愛知	ココニコTTA(ティーティーエー)		
51	宮崎	ナンバー1(ワン)		
52	東京	インフィニティ・III(スリー)		

I

53	大分	チームHRG		
54	東京	SAKURA(さくら)		
55	千葉	チューリップ		
56	千葉	フィフティスリー		
57	千葉	タンポポ		

J

◆競技はAグループ～Jグループの順

◆コースはNo.の若い順 例)No.1 → 第1コース、No.2 → 第2コース

発明協会は未来の日本を担う子ども達の 創造性の開発・育成を推進しています。

子ども達の理科離れ・ものづくり離れが進んでいます。

我が国が今後とも独創的な優れた技術を生み出していくには、子ども達の創造性の開発と育成がますます重要
となっています。

発明協会は、我が国企業の協力の下、子ども達の創造性を開発・育成する活動を推進しています。

【協賛企業】

子ども達の創造性の開発・育成に係る事業に対し、次の企業からご協力をいただいております。

青少年創造性開発育成事業協賛企業
(ゴールドスポンサー)

AsahiKASEI

おいしい、そして、いのちへ。
Eat Well, Live Well.
AJINOMOTO.

SOC

Canon

KOBIRO

SHIMA SEIKI

経 昭和冷凍プラント

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

地域とともに未来をひらく
東北電力

JPA
日本弁理士会

Panasonic
ideas for life

SEL
日本機械工業会研究

PIGEON

HITACHI
Inspire the Next

MITSUBISHI
三菱電機
Changes for the Better

(シルバースポンサー)

MADA

NTT DATA

EPSON
EXCEED YOUR VISION

DNP 大日本印刷

DENSO

武田薬品工業株式会社

TOKUYAMA

TOYOTA

NGK NTK
日本特殊陶業

brother
at your side

三菱化学

(ブロンズスポンサー)

アイシン精機株式会社、アステラス製薬株式会社、イーグル・クランプ株式会社、株式会社石井鐵工所、株式会社金工業社、梶原工業株式会社、桂川電機株式会社、かねさ株式会社、キタムラ機械株式会社、キッコーマン株式会社、
寿産業株式会社、株式会社ササキコーポレーション、株式会社サタケ、株式会社ジェイテクト、株式会社島津製作所、第一三共株式会社、東レ株式会社、豊田合成株式会社トヨタ車体株式会社、トヨタ紡織株式会社、株式会社ナンシン、日本発条株式会社、
日産自動車株式会社、浜松ホトニクス株式会社、株式会社日立ハイテクノロジーズ、富士フイルム株式会社、株式会社ブリヂストン、本田技研工業株式会社、衛盛岡原田株式会社、株式会社ヤナギヤ、株式会社山本製作所、ヤンマー株式会社

(寄付)

トヨタ自動車株式会社

〔全国青少年少女チャレンジ創造コンテスト事務局〕

公益社団法人発明協会 青少年創造性グループ

TEL 03-3502-5434 FAX 03-3502-3485

KEIRIN
00

全国青少年少女チャレンジ創造
コンテストは競輪の補助金
を受けて開催します